



第6号

平成17年12月5日

みなさまこんにちは。札幌市観光企画課の武田です。札幌では毎日寒い日が続いています。例年であれば、札幌はそろそろ根雪(冬の初め頃に積もった雪が春の雪解け時期まで解けないこと)になる予定です。今月のもぎたてさっぽろはそんな札幌の冬をより楽しむためのイベント情報の特集です。

☆☆今月のトピックス☆☆

- 1 ホワイトイルミネーション&ミュンヘン・クリスマス市
- 2 ようこそさっぽろ12月の特集
- 3 さっぽろ雪まつり情報

1 ホワイトイルミネーション&ミュンヘン・クリスマス市

もうすぐクリスマスですね。札幌はこの時期、中心部全体が、ロマンチックな雰囲気になります。

大通公園と駅前通りでは、第25回さっぽろホワイトイルミネーションが11月18日から来年2月12日まで開催されており、37万個を超える電球が、街中を鮮やかに彩ります。

また、大通公園2丁目では、11月19日から12月11日まで「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」が開催され、ドイツのクリスマスを味わうことができます。このイベントは、札幌の姉妹都市であるドイツ・ミュンヘン市で開催されているクリスマス用品などを販売する市場を、札幌でも同様に開催するものです。

さっぽろホワイトイルミネーション公式サイト

<http://www.sweb.co.jp/kanko/white/>

ミュンヘン・クリスマス市in Sapporo公式サイト

<http://www.city.sapporo.jp/christmas-market/index.html>

それでは、大通公園1丁目から順番にご紹介します。

<1丁目>



ここでは、ホワイトイルミネーションの協賛行事である「愛のツリーSAPPORO 2005」が開催されています。クリスマスツリーが3本立っています。木全体を彩る赤・白の光がクリスマスらしさを盛り上げるとてもかわいらしいツリーです。ここでは、メモリアルボードがあって、記念のメッセージを飾ることができます。

<2丁目>



このオブジェの名は「宇宙の領域」といい、ホワイトイルミネーションの中でも、中心的な存在です。夜空に白い光が美しく映えます。

そして、2丁目では、ミュンヘン・クリスマス市in Sapporoが開催されています。本場ドイツと同じようにクリスマスのオーナメントや伝統

料理を売る店が立ち並び、ホワイトクリスマスの雰囲気を盛り上げてくれます。

ようこそさっぽろ

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/munichchristmas/index.html>



お店の雰囲気



サンタクロースもいます



ドイツの伝統料理の一つが、このシュトーレンです。レーズンなどのドライフルーツが入った固めのケーキに粉砂糖がかかっており、生クリームと合わせて食べます。素朴な味わいのケーキです。



また、クリスマス市は屋外で行われているため、体を温めるのにも欠かせないのが、グリューワイン(ホットワイン)です。温めた赤ワインにレモンやオレンジなどの皮、シナモン、香辛料などが加えられています。シナモンが苦手な人のためにシナモンなしのグリューワインも販売しています。店ごとに味が違うため、飲み比べてみるのも楽しいですね。クリスマス市では、毎年、ドイツでデザインしたオリジナルマグカップを限定販売しています。このカップでグリューワインを飲めばクリスマス気分も一層盛り上がります。



取材班のおすすめは、このロテサリーチキンです。これは、鳥を丸ごと一匹、一時間じっくり焼いたものです。皮はパリパリ、中はジューシー。味もしっかりついています。ほかに、ドイツ料理やドイツビールがたくさん売られています。



チューリンガー&シンケンヴルシエン(ドイツパンにソーセージをはさみこんだもの)

食べ物だけでなく、オーナメントを販売している店もたくさんあります。見ているだけでも楽しい気持ちになりますね。



〈3丁目〉

3丁目には、「スズラン」「クリスマスツリー」今年初めてできた「イルミネーションゲート」協賛行事の太陽光と風力で発電する「ソーラーツリー」があります。クリスマスツリーの内側にはかわいらしいサンタもいます。イルミネーションゲートは撮影スポットに最適です。



寄り添うカップル

〈4丁目〉

4丁目には「ライラック」「針葉樹」の2つのオブジェがあります。ピンク色の光が華やかな雰囲気です。



〈駅前通り〉



駅前通りは北4条から南4条まで、ライトアップが続いています。この駅前通りは来年から大通から札幌駅を地下歩道でつなぐ工事が行われるため、この区間はいったん今年が最後となります。見納めにぜひいらしてください。



店独自のオブジェイルミネーションに華を添えています。

寒いからこそ、より美しく映えるイルミネーションや、ドイツの雰囲気味わえるミュンヘンクリスマス市。ぜひみなさまも札幌に来て本当のホワイトクリスマスを体験してみてください！

札幌の今はコチラ<http://www.welcome.city.sapporo.jp/index0512.shtml>

2 ようこそさっぽろ 12月の特集



<<http://www.welcome.city.sapporo.jp/>>

携帯版「さっぽろフットナビ！」

<<http://www.welcome.city.sapporo.jp/fnv/>>

コラム形式で臨場感たっぷりに毎月1ヵ月先の情報を紹介する「ようこそさっぽろ」。

冬の札幌の醍醐味はやはり雪。スキーをはじめとして、馬そりやかんじき、チューブ滑りにそりのスケルトンなどなど。雪を思いっきり満喫しましょう！

<12月の特集>

○札幌の1月 スキーにおいでよ

■パウダースノーと道内最長コース、札幌のスキーヤーになる喜び

■ノルディックを見に行こう(スキージャンプ、クロスカントリー、コンパインドの大会日程)

■冬遊びしよう(モエレ沼公園、芸術の森、滝野すずらん丘陵公園、フッズ、さとらんど) など

○新コーナー「札幌は季節の薫る街」

札幌のどの季節も見逃してほしくない。季節ごとの魅力をお伝えます。

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/season/index.html>

12～2月の主なイベント

○第57回さっぽろ雪まつり(2/6～2/12)

<http://www.snowfes.com/>

○スノースケープ・モエレ(12/23～2/19)

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/moerenuma/grandopen.html#1>

イベントスケジュールの詳細はこちら

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/event/index.html>

3 さっぽろ雪まつり情報

これまで2回にわたって「さとらんど会場」を特集してきましたが、今回はメイン会場となる大通会場についてお知らせします。

大通会場のいちばんの目玉といえば、その精巧かつ大規模な雪氷像ですよね。

その雪像っていったいどのように作られているのか、みなさんご存知でしょうか。

ここですべての作り方をお伝えするのは難しいですが、簡単にご紹介させていただきます

(写真は前回作られたノルウェー国会議事堂)。

1 枠組み～雪積み

まず、雪像の大きさに足場と木の枠を組み、雪をつめ込んで固めます。大きい雪像でトラック(5t換算)約600台分もの雪が使われています。



2 枠組みはずし

積んだ雪が固まったら足場を残し、枠をはずします。



3 けずり出し

固まった雪をオノやシャベルなどで削ります。最初は荒削り、それからだんだん細かい彫刻に入っていきます。



4 完成

化粧雪といわれる真っ白な雪を仕上げとして使い、形が整ったら足場をはずして完成します。



これらは、実際には1月に入ってから屋外の作業となります。1月中に札幌を訪れる際には、大通公園に立ち寄って、今はこの段階の作業をしているな、というように感じてみてください。ただ、雪像制作現場は、ほとんど建設現場と同じようになっています、会場内は立入禁止になります。少し遠くから眺めてください。

それでも大きな雪氷像の迫力は十分に伝わるはずですよ。

また、この屋外の作業に入る前に行われるのが「模型作り」です。実は、この「模型制作」が雪像作りの上で重要な意味を持ちます。というのも、実際に枠組みやけずり出しを行うときにはこの模型を参考にして行うため、模型をより精巧かつ緻密に作り上げることが、大雪像を作り上げる大きなポイントとなるのです。

今回、その非常に重要な作業である模型制作の現場をのぞいてみました。



まず、現地取材などで集めた情報を、



設計図に落とします。



その設計図をもとに木材や粘土などで模型を作っていきます。



模型制作は、12月中旬頃まで続き、12月26日の雪まつり実行委員会において正式に公表されます。
(今回のメルマガでは、残念ながらまだ完成模型をお出しできません。)

現在、模型制作作業が進められていますが、大通会場に制作される雪氷像のテーマも続々と決まってきました。
主な雪氷像につきましてお知らせいたします。

○ 大雪像

・ 魔女とライオン[ナルニア国物語](西4丁目)

イギリスでとても有名なファンタジー児童文学が来年3月に実写映画として公開されるのに先立ち、第1章「ライオンと魔女」に出てくる人物・動物たちが雪像として登場します。

・ ドリーム藍ランド オキナワ(西4丁目)

大人気の女子プロゴルファー 宮里 藍 選手が、暑い地元沖縄を、真冬のさっぽろ雪まつりで案内してくれます。

・ フリンダースストリート駅(西7丁目)

オーストラリア・メルボルンにおける有名ナルネッサンス調の駅舎。2006年の日豪交流年を記念して作られます。

・ 法隆寺・金堂(西8丁目)

皆さんよくご存知の世界最古の木造建築物。今回制作する金堂は、建造物保護のために後年付けられた裳階(もこし)屋根を取り除き、建築当時の姿でよみがえります。あわせて仏法の守護神、阿形、吽形の金剛力士像も精密に再現されます。

・ ハッピー台湾(西10丁目)

アジアでも指折り大きさを誇る「八卦山(はっけさん)大仏」や世界四大博物館の一つ「国立故宮博物院」、世界一の高さ508mを誇る「TAIPEI 101(ワン・オー・ワン)」など、台湾のナンバーワンばかりの名所が一つの雪像として集まります。

○ 大氷像

・ ロイヤル・エキシビション・ビル(西5丁目)

「フリンダースストリート駅」と同じく、メルボルンのシンボリック建造物。2004年7月にオーストラリアとしては初めて文化遺産として世界遺産に登録されたこの建物が、透き通った氷のみで表現されます。

○ 中雪像

・ キャラクター雪像すべり台(西3丁目)

かわいい動物キャラクターたちがみなさんをお出迎え。すべり台は子どもたちに大人気です。

・ 世界ノルディック2007 飛べ、走れ、雪のステージ(西5丁目)

2007年2月に開催されるFISノルディックスキー世界選手権札幌大会の成功を願って、マスコットキャラクターのノルッキーが会場に登場。

詳細な情報はこちらへ・・・○雪まつり公式ホームページ<http://www.snowfes.com/>

○編集後記○

「もぎたてさっぽろ」いかがでしたか？寒くなってくると温泉などが恋しくなりますよね。みなさまは岩盤浴はもう体験しましたか？東京や大阪でも最近は大いぶ増えてきたようですが、札幌では数年前から岩盤浴店の数が増えつづけ、今では市内に40店近くの岩盤浴施設があります。岩盤浴に多く使われるブラックシリカが北海道で産出されることから道内でブームになっているようです。岩盤浴・スイーツ・・・最近の札幌には女性にうれしいスポットが増えてきていますよ！最後までお読みいただきありがとうございました。

ご意見・ご質問はこちらまで kanko@city.sapporo.jp

次号は1月13日発行予定です。

札幌市観光文化局観光部観光企画課

Tel011-211-2376 Fax011-218-5129

E-mail kanko@city.sapporo.jp
